学校番号	408

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	論理・表現Ⅰ	2	1	・Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard ・Vision Quest 論理・表現 Core Starter ・Vision Quest 論理・表現 Core Starter WORKBOOK

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「論理・表現Ⅰ」の授業は、英語で自分の伝えたいことを表現するために必要となる文法力を身につけていくことを目的としています。毎回の授業を大切にして、授業の中で文法事項を理解し、表現の基礎となる基本例文を繰り返し音読し、覚えていきましょう。また、それを発展させるために、今度は練習問題に取り組んでいきましょう。表現の仕方は一通りではありません。より多くの表現の仕方を学んでいきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な指示を理解することができる ゆっくりはっきりと発音されれば、数字や品物の値段など必要な情報を聞き取ることができる	日常生活で使われる非常に短い簡単な指示（「飲食禁止」など）を理解することができる 絵や写真のついたレストランのメニューなどを読み、理解することができる	決まった日常の挨拶やり取りをすることができる。また、基本的な語句を使って、指さしやジェスチャーなどをしながら自分の要求や意思を伝えることができる 自分の感情などを簡単に伝えることができる	基礎的な語句を使って自分の名前や年齢など限られた情報を伝えることができる 前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句や定型文を使って実物を示しながら、その物について説明をすることができる	住所・名前・職業などの項目がある表を埋めることができる 自分についての基本的な情報（名前、誕生日年齢など）を書くことができる

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法などの基礎的な知識を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと・読むこと・書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、日常場面で活用できる。	身近な話題である日常生活に関することや社会的な事柄について、大まかにとらえ、前もって準備した上で、コミュニケーションを行う状況に応じて、自分自身のことや他者のことを表現できる。	外国語を通して学ぶ事物の背景にある文化に関心を持ち、継続して学習を進めながら、外国語を用いて互いに意見を主体的に交換できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1～2	聞くこと	a:英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b:日常的な話題(「学校生活」など)について、必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題(「学校生活」など)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査/ リスニング テスト
		読むこと	a:動詞の意味や働き、英語の文型を理解している。 b:身の回りの事柄(「学校生活」など)に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c:身の回りの事柄(「学校生活」など)について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a:動詞の意味や働き、英語の文型を理解している。 b:日常的な話題(「学校生活」など)について、基本的な語句や文を用いて原因・理由を述べるやり取りができている。 c:日常的な話題(「学校生活」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的にやり取りをしようとしている。	スピーキン グテスト
		話すこと （発表）	a:動詞の意味や働き、英語の文型を理解している。 b:日常的な話題(「学校生活」など)について、基本的な語句や文を用いて原因・理由が伝わるように話している。 c:日常的な話題(「学校生活」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキン グテスト
		書くこと	a: 動詞や英語の文型を使って、自分のことや身の回りのもの(「学校生活」など)について書くために必要な技能を身に付けている。 b:自分のことや身の回りのもの(「学校生活」など)について簡単な語句や文を用いて原因・理由を伝えるものを書いている。 c:自分のことや身の回りのもの(「学校生活」など)について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Lesson 3～4	聞くこと	a:英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、過去のことやこれからの予定について必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査/ リスニング テスト
		読むこと	a:時制、完了形の意味や働きを理解している。 b:身の回りの事柄(「趣味」「関心」など)の過去のことやこれからの予定について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c:身の回りの事柄(「趣味」「関心」など)について英語で書かれた短い説明	定期考査

			を読んで概要を捉えようとしている。	
		話すこと (やり取り)	a:時制、完了形の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、基本的な語句や文を用いてやり取りしている。 c:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的にやり取りしようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a:時制、完了形の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、基本的な語句や文を用いて話している。 c:日常的な話題(「趣味」「関心」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 時制、完了形を使って、自分のことや身の回りのもの(「趣味」「関心」など)について書くために必要な技能を身に付けている。 b:自分のことや身の回りのもの(「趣味」「関心」など)過去のことやこれからの予定について簡単な語句や文を用いて書いている。 c:自分のことや身の回りのもの(「趣味」「関心」など)について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
2	Lesson 5～7	聞くこと	a:英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査/ リスニングテスト
		読むこと	a:助動詞、受動態、不定詞の意味や働きを理解している。 b:身の回りの事柄(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c:身の回りの事柄(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a:助動詞、受動態、不定詞の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、基本的な語句や文を用いてやり取りしている。 c:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的にやり取りしようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 助動詞、受動態、不定詞の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、基本的な語句や文を用いて話している。 c:日常的な話題(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト

		書くこと	a:助動詞、受動態、不定詞を使って、自分のことや身の回りのもの(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について書くために必要な技能を身に付けている。 b:自分のことや身の回りのもの(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について簡単な語句や文を用いて書いている。 c:自分のことや身の回りのもの(「日常生活」「将来・進路」「趣味・関心」など)について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	Lesson 8～9	聞くこと	a:英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査/ リスニング テスト
		読むこと	a:動名詞、分詞の意味や働きを理解している。 b:身の回りの事柄(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c: 身の回りの事柄(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a:動名詞、分詞の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、基本的な語句や文を用いてやり取りしている。 c:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的にやり取りしようとしている。	スピーキング テスト
		話すこと (発表)	a:動名詞、分詞の意味や働きを理解している。 b:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、基本的な語句や文を用いて話している。 c:日常的な話題(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a:動名詞、分詞を使って、自分のことや身の回りのもの(「スポーツ」「メディア」など)について書くために必要な技能を身に付けている。 b:自分のことや身の回りのもの(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について簡単な語句や文を用いて書いている。 c:自分のことや身の回りのもの(「スポーツ」「メディア」「国際交流」など)について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
3	Lesson 10～12	聞くこと	a: 英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b: 日常的な話題(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について、必要な情報を聞き取っている。	定期考査/ リスニング テスト

			c: 日常的な話題(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	
		読むこと	a:関係詞、比較、仮定法の意味や働きを理解している。 b:身の回りの事柄(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c: 身の回りの事柄(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 関係詞、比較、仮定法の意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について、基本的な語句や文を用いてやり取りしている。 c: 日常的な話題(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的にやり取りしようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 関係詞、比較、仮定法の意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題(「将来の夢」「環境問題」「社会問題」など)について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題(「将来の夢」「環境問題」「社会問題」など)について、基本的な語句や文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 関係詞、比較、仮定法を使って、自分のことや身の回りのもの(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)を書くために必要な技能を身に付けている。 b: 自分のことや身の回りのもの(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分のことや身の回りのもの(「異文化理解」「国際問題」「社会問題」など)について簡単な語句や文を用いて読み手に配慮しながら書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度